

公開研究会のおしらせ

第11回 被疑者取調べ録画研究会

2012年7月6日(金)午後6時-8時

京都弁護士会館 (参加費は無料です)

大阪東署事件と可視化問題

講師: 秋田真志 弁護士

(大阪弁護士会)

2012年4月、警察庁から取調べの一部録画に関する指針が発表され、検察庁に引き続いて取調べの録音録画が本格化しようとしています。しかし、その範囲はまだ全てではありません。

今回の研究会は、ICレコーダーに恐るべき取調べの様子が記録された「大阪東署事件」にスポットを当て、可視化問題の現状を学びます！



主催: 被疑者取調べ録画研究会

(代表: 指宿信・成城大学教授)

共催: 京都弁護士会

後援: 日弁連法務研究財団、

新学術領域研究「法と人間科学」 可視化の制度構築と裁判員裁判班

懇親会あり(川床予定)。
ご希望の方は、必ず事前お申し込みをお願いします！

会館へは公共の交通機関でお越し下さい。地下鉄丸太町下車徒歩5分。

問い合わせ・申し込み:

香川大学法学部吉井研究室 tel & fax087-832-1725

Email: VisualRecord@aol.com

